

撮影 妹尾 晋吉氏



観音だより

岡山市東区西大寺中3-8-8
TEL(086)942-2058
観音会広報委員会発行
平成26年7月15日
題字カット 木村 喬生

楽しい行事

- 7月19日(土) 夜待まつり (会陽太鼓・花火の打上げ)
- 8月16日(土) 水まつり ご先祖供養 (塔婆供養・灯ろう流し)

日本の夏の行事といえば、何といっても「お盆」です。お盆の形態は地方によって様々ですが、本質に変わりはありません。お盆が近づくと、先ずお墓掃除と仏壇を清め、祭壇をしつらえます。久しぶりに家族や親戚が集います。いよいよ八月十三日の日暮前には、灯りのついていない提灯をお墓に持参し、ここで提灯のロソクに火を点じます。この灯りでご先祖の霊を丁寧に家までご案内し、この提灯の火を祭壇のロソクに点じます。祭壇には精進料理、果物や茶菓を供え、ご先祖と語り、おもてなしをします。

この時期に各地で行われる盆踊りは、私たちの楽しみですが、元来は帰って来られたご先祖の心をやすためです。ついに十五日の夕刻になるとお迎えした時と逆に、祭壇の灯を提灯のロソクに点じお墓までご先祖をお送りし、ここで提灯の灯りを消します。なんと身近で明確な事でしょう。特に宗教的という意識もない

お盆に思う

住職 坪井 全広

「人は亡くなるとどこへ行くのだらうか」歳とともにこんな事を考える回数も増えてきます。仏教では亡くなった人は仏の世界へ往くと説きます。そこは「あの世」即ち、もう生きている私たち凡人の手が届かない世界です。けれども私たちは、亡くなった人の霊魂は、お墓にも仏壇にも存在すると考えています。お盆ともなれば、小さな灯の周辺にもおられると信じています。それに私たちの記憶や心の中に生と死、生きている私たちと亡くなったご先祖。決して交わる事が出来ないと思える「あの世とこの世」。

私たち誰もが、やがてあの世へ旅立つ日が訪れます。愛する人や大切なものと別れ、独りで往かなければならない宿命です。それは人生最大の苦しみであり、悲しみであり、不安でもあります。

しかし「また帰る場所がある、温かく迎えてくれる人が居る」と思えるだけで、それはまた全く違ったものになります。ご先祖と私たちの命と心は、こうして連綿と繋がっています。

“まごころ” 祈りある心豊かな暮らしを求めて

株式会社 小林朱雲堂
西大寺店

〒704-8192 岡山市東区西大寺中野本町11-32
TEL:086-942-5559 saidaiji@syuundo.com

仏壇・仏具・墓地・墓石

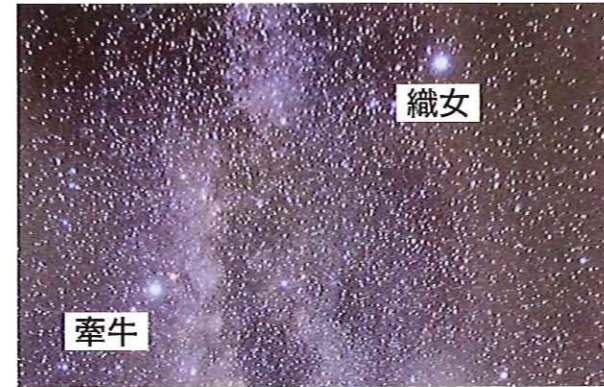
オアシス霊園「西大寺東」好評受付中

創業明治22年 仏壇・墓石・霊園・寺院荘厳品

中原三法堂
nakahara

西大寺店 岡山市東区西大寺中1丁目1-3
TEL(086)942-1633 FAX(086)942-1639

ホームページ・<http://www.sanpoudo.co.jp/>



夏の夜空の一番の見ものといえば、一年のうちでもっとも高く明るく見える天の川の光芒でしょう。と言ってもとてもとても弱い輝きなので市街地でそれを認めるのは難しいので、夜空の澄んだ高原などへ出かけて見るのがおススメといえます。夏休みの季節でもある八月はそのチャンスといえます。南の地平線から立ち昇る迫力ある天の川の輝きは、肉眼でもはっきりわかり、頭上で輝く夏の大三角形の辺りから滝のように流れ落ちるようにも感じられることでしょう。

天の川と七夕

また夏の星座は天の川を目印にすれば見つけ易くなります。まず目にとめたいのは、北から七夕の織女(琴座のベガ)牽牛(鷲座のアルタイル)の輝きと、蠍座のS字カーブそして射手座の南斗六星の連なりといえます。

夜待ち祭り「スタンプラリー」

7月19日(土) 夜待ち祭りが執り行われます。

その昔、行方不明になった「宝木」が本堂で拝む信徒の前に現れ、授かった信徒は豊作を得たことで縁日にお礼参りをしたという伝統が起源として始まった夏祭り。

1000発近く打ち上げられる花火は岡山の夏花火のトップバッターとして、また直径160mに花開く5号玉や、川面に映る様子は多くの観客を魅了します。

今年の祭りは観音会として趣向を凝らせ、「西大寺観音院スタンプラリー」を開催。スタンプに梵字を使用し、全部集まるとガラポンで景品ゲット(ハズレなし)、集めた台紙は『心願成就』としてご自宅でお飾りしていただけます。

◎台紙受付は 17:00～18:30まで 先着300枚
◎ガラポンは 18:00～19:30まで、いずれも本堂大床
境内にお祀りされている仏様に手を合せ、すてきな景品をゲットしよう!

まごころ奉仕 株式会社 東部典礼
〒704-8176 岡山市東区富士見町1丁目28-1 Tel:086-943-8788

岡山典礼会館 (百間川東隣)
〒704-8184 岡山市東区中川町602-1 Tel:086-944-1444
k-toubu@smile.ocn.ne.jp 弊社ホームページ: <http://www.toubutenrei.com>

葬儀 法要会館
cerema
株式会社 セレマ 西大寺シティホール

内勤スタッフ募集 住所 岡山市東区金岡西町821-2
TEL 086-944-4440

「日本の伝統と和文化の継承」
四季を愉しむお菓子をお届けします

岡山華菓匠 敷島堂

☎0120-15-0059

【邑久総本店】瀬戸内市邑久町尾張1153-1 ☎0869-22-0059(代)
【西大寺店】岡山市東区西大寺中野377-1 ☎086-943-5151

菓子・お餅・お赤飯承ります 敷島堂

いつまでも心に残るセレモニー

やすらぎ

まごころ 安心 低価格

株式会社 JA岡山 年中無休 24時間受付

■やすらぎ東会館 Tel(086)944-2800
岡山市東区西大寺中野377-6
■やすらぎ西会館 Tel(086)903-1194
岡山市北区徳川170-1

香煙のただよう本堂水まつり
とうば書き心を浄め筆をもつ
落慶法要風にはためく五色布幕
白壁の朝日に映えて六角堂

河本 富夫

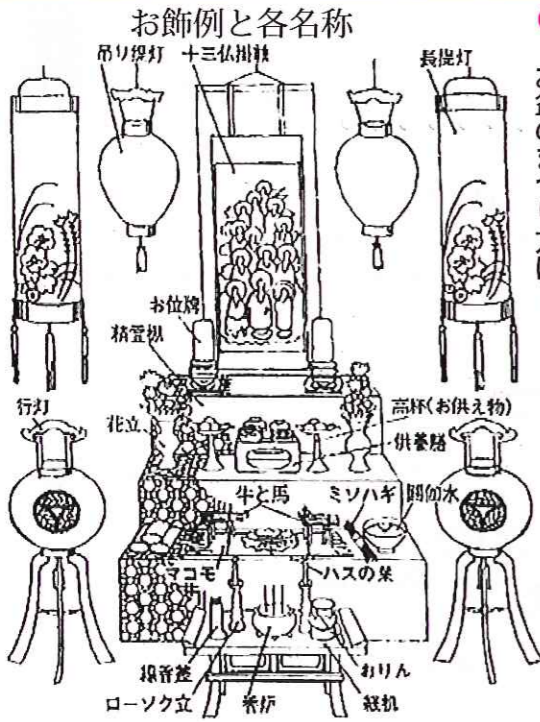


お酒、うどん、野菜など皆様からの差入れを頂戴し、お握りと豚汁などの簡単な「おもてなし」をさせていただいています。裸群が帰って来るのがほぼ同時なので戦争の様な忙しさです。裸衆も裏方の私達もただ一途に会陽を愛する者の集まりですが、地道に努力をしたご褒美でしようか丁度十年前に一人の若者が「一対」二本の宝木を授かり、我が家にも福が舞い込み、長年の苦勞が報われました。会陽も終わり、帰りに際「とても楽しかったです。来年もよろしくお願いします」とか「何か片付けのお手伝いはありませんか」との若者のやさしい声に元気を載っています。これから娘達共々地元の為

最近「死が身に付く」理由で四十九日当日まで三ヶ月に亘るのを避け、三十五日で切る考えがあります。この風習は、明治の服忌令(ぶつきりよう)という法律で五十日間の忌中は仕事が出来なかつた為、早く切り上げた言い訳であったり、お産のために実

にも会陽の為に老骨に鞭打って頑張りたいと思います。最後にになりましたが、会陽の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。 Q 四十九日法要の意味を教えてください。 A 亡くなってから仏になるまで四十九日を要します。 四十九日目の忌明けは満中陰(まんちゅういん)と言います。この間、亡者は七日ごとに生前に行った善悪の裁きを受けて、転生する来世が決まります。よって、この期間、遺族は裁きの日の前夜(速夜、たいや)に浄土に行けるようにお祈りをするのです。

質問コーナー②



お盆のまつり方は?

家に戻ったお嫁さんが婚家に帰ろうとしないのを、子どもに苦労が「身につく」三月(みつき)という理由で早く婚家に帰るようむけた語呂合わせなのです。本来、葬儀や法事とは関係のない風習ですから四十九日間を大切にしてください。参りにして下さる。 まつり方は、地域や各々家庭によっても異なり一概に決めることは出来ませんので、岡山近辺の風習を基本として簡単に記しておきます。参考にして下さい。 ☆お供具↓本来はおもちで作りますが、小麦粉でもかまいません。小さなだんごを作り、亡くなってから日が経つ毎、一つずつ増やしてお供えします。例

えび、亡くなって六日経てば六つ、翌日七日には、又新たに作り直して七つ、という具合です。 ☆お霊供膳↓亡くなった方とおみさき仏(不成仏)の為に二膳用意します。材料は精進(植物性のもの、野菜や果物)です。 ☆ひっぱり餅↓四十九日当日には、一升の餅米で四十九個の餅を作り、残った餅を薄く延ばしてへ人型にする場合もある。親族で引つ張って食します。 ☆お茶湯、線香↓毎日忘れなようにします。 ☆おかんき↓御経をご家族で唱えましょう。 先祖供養とは「心を表すものだ」ということを、忘れないようにしたいものです。

仏壇仏具 卸・小売り・修理・墓石・ギフト
人とのつながりを大切に
株式会社 田岡仏壇店
〒703-8231 岡山市東区藤井 259-2
TEL (086) 279-1813 FAX (086) 279-8110
http://www.taoka-but sudan.co.jp/

佛壇・佛具専門店
川西佛壇店
岡山市東区西大寺東2丁目5-11
☎086-943-7401

観音会総会開催

去る五月十一日、二十九回目となる総会が開催された。

まず、六角経蔵の落慶法要に合わせ、経蔵の前で先祖総供養法要が晴天のもと厳かに営まれた。



続いて場所を大広間に移し、平成二十五年事業報告と収支決算。今年度事業計画並びに収支予算案が審議され、承認された。講演会では中国観音霊場

特別札所 山口県・般若寺住職 福嶋弘昭師より「山寺で観えたもの」日本人の忘れもの」と題して講演頂いた。四苦八苦しながらお寺を復興させる直向きな努力に、聴衆は笑いあり涙ありで感動の一時を過ごした。

他人を思いやる

(観音会総会講話より) 田中 瑞穂

今年の総会は、五月十一日、六角経蔵の落慶法要に続いて開催された。そして総会後の恒例の講演には、今回講師として、皆足姫の出所である山口県周防から、特別霊場、般若寺の福嶋弘昭僧正がおいでになった。

般若寺は、創建以来千四百年になる真言宗の古刹で、当代お住職は九十代目となられるとのこと。 寺は、室津半島の山頂、二百五十米にあり、かつては寺の焚火が、周防灘から伊予灘を通り瀬戸内海を往き来する船の灯台の役目を担っていたとのこと。聖徳太子の父君、用明天皇の由縁の寺で、行事としては、お釈迦様が涅槃に入られた二月十五日に、毎年盛大な柴灯護摩がある由。

演題「山寺で観えたもの」日本人の忘れもの」の中で、戦後七十年、古き良き日本人の精神性が失われ、社会全体に自己主張が幅を利かせている現状は憂うべきもので、他者を慮ることが大切であるといわれたことに全く共感した。

六角経蔵落慶法要

大般若経への願い 平岡 正道



紀州より縁あって、ここ都紀の里観音院にお世話になってからというものが、次々と伽藍が修復され美しくなつてまいりました。

まずは三重の塔、千手堂、さらには牛玉所殿。過去、ご本尊ご開帳にあたっては、本堂の大修復も行われました。 いつも文なしが何とかならぬにつき合わせて頂いておりましたが、この度の六角堂で一応区切りがついたというところででしょうか? 先ずはおめでたい事です。

大般若経を一巻独占奉納出来るという事で、故郷生地の番地番号を選ばせて頂きました。まだまだ奉納させて頂けるそうでございますので、大般若のご利益をみなさまにお薦めしようと考えているところです。 初めて見る輪堂のずっしりとした重量感が、観音院の歴史を感じさせてくれます。 女性向きの地獄絵は家内につきり勉強してもらいましょう。 シリーズ会場を支える③ 裸衆! イザ、出陣! 松谷 慶子

西大寺に嫁いで来て五十年になります。それが以来会陽の裏方として裸衆のお世話をさせていただいています。 当初は我が家から出る裸の人も十数名でしたが、最近百名を越すようになりました。以前は後片付けが済むのも午前五時頃でしたが、宝木の投下が早くなり近年は三時頃には終わるようになりました。 「今年もよろしくお願い致します」と一年振りの元気な若者達の顔を見るととてもうれしく感じます。

墓地・墓石
石に心の祈りを刻む
坂本石材(株)
岡山県瀬戸内市邑久町尻海4382-84
☎工場(0869)24-0622/☎事務所(0869)24-0285

西大寺店 (086)942-0111
あさ10時よる20時
食料品売場のみ9時開店
★電話番号をよくお確かめのうえ、おかけくださいませ。
天満屋ハッピータウン